

令和9年度 学生募集要項

— 美術工芸学部 —

[一般選抜]

[私費外国人留学生選抜]

□障がい等を有する者等の配慮の申請期限

令和8年12月18日（金）

□出願期間（前期日程試験・後期日程試験共通）

令和9年1月25日（月）～ 2月3日（水）

※2月3日（水）郵送発信局消印有効

※前期日程・後期日程の両方に出願する場合は、それぞれ出願書類を作成し個別に出願すること。

□試験日程

（前期日程試験）○絵画専攻：令和9年2月25日（木）～2月27日（土）

○彫刻専攻：令和9年2月25日（木）～2月27日（土）

○芸術学専攻：令和9年2月25日（木）

○デザイン専攻：令和9年2月25日（木）～2月27日（土）

○工芸専攻：令和9年2月25日（木）～2月27日（土）

（後期日程試験）○絵画専攻：令和9年3月12日（金）～14日（日）

□合格者の発表

（前期日程試験）

令和9年3月5日（金）午前10時 ※本学ウェブサイト掲載（合格通知書の発送）

（後期日程試験）

令和9年3月20日（土）午前10時 ※本学ウェブサイト掲載（合格通知書の発送）

□入学手続期間

（前期日程試験）

令和9年3月8日（月）～3月15日（月）

※3月15日（月）午後5時までに必着

（後期日程試験）

令和9年3月21日（日）～3月27日（土）

※3月27日（土）午後5時までに必着

令和8年6月



沖縄県立芸術大学

OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地

電話 (098)882-5080

<https://www.okigei.ac.jp>

令和9年度 沖縄県立芸術大学 美術工芸学部学生募集要項 目次

第1	アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、 ディプロマ・ポリシー -----	1
第2	募集人員 -----	3
第3	一般選抜	
1	出願資格 -----	3
2	選抜方法等 -----	4
3	教科・科目に係る個別テスト等（以下「個別テスト等」という。）の 試験科目と日程 -----	7
4	出願手続 -----	13
5	受験票 -----	16
6	受験上の注意 -----	16
7	不正行為 -----	17
8	入学志願者状況案内 -----	17
9	合格者の発表 -----	17
10	入学手続 -----	18
11	入試成績の情報提供 -----	19
第4	学校推薦型選抜 -----	19
第5	総合型選抜 -----	19
第6	私費外国人留学生選抜	
1	出願資格 -----	19
2	選抜方法等 -----	19
3	個別テスト等の試験科目と日程 -----	19
4	出願手続 -----	19
5	受験票 -----	21
6	受験上の注意 -----	21
7	不正行為 -----	21
8	入学志願者状況案内 -----	22
9	合格者の発表 -----	22
10	入学手続 -----	22
11	その他 -----	23
◎	大学案内 -----	24
◎	沖縄県立芸術大学の概要 -----	25
◎	学生生活 -----	26
◎	一般選抜出願用書類	
	○出願書類等一覧表【一般選抜（前期日程試験）・私費外国人留学生選抜】	
	○出願書類等一覧表【一般選抜（後期日程試験）・私費外国人留学生選抜】	

令和9年度 沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 学生募集要項

第1 アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

1 沖縄県立芸術大学アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1 教育の理念

沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。

さらに、学生の専門的力を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。

2 本学の求める人物像

- ・本学の教育の理念をよく理解し、学習に必要な基礎的知識・技能を備えている人
- ・芸術に強い関心があり、自ら課題を発見し解決するための思考力や判断力、表現力を備えている人
- ・多様な芸術文化に興味を持ち、主体的に人々と協働し、現代社会に向けて新しい芸術創造の営みを発信していく意欲に満ちた人

3 入学者選抜区分

- ・本学では一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜及び社会人選抜を実施します。

4 入学者選抜試験の基本方針と実施

- ・一般選抜においては、大学及び各学部のアドミッション・ポリシーに基づき、大学入学共通テストの成績を利用した選抜試験と教科・科目にかかる個別テスト等（以下「個別テスト等」という。）（実技検査、小論文、口述試験、面接等）を実施します。なお、大学入学共通テストについて、国語、外国語及びその他任意の1科目の合計3科目を試験科目として課します。
- ・学校推薦型選抜においては、実技検査、小論文、面接等を実施します。
- ・総合型選抜においては、実技検査、小論文、プレゼンテーション、面接等を実施します。
- ・音楽学部の社会人選抜においては、個別テスト等（専攻試験、小論文等）を実施します。

いずれの試験においても、本学の学習に必要な「学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等）」を測り評価します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう4年間を通して全学教育科目を選択履修し、全学年にわたり専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで、段階的に履修することを基本に授業科目を編成します。

その上で、さまざまな技術や学問を幅広く主体的に学べるよう配慮し、学生の多様な個性を尊重しつつ、自ら感性を磨き、社会との関係を考え発信していく能力を高める教育を行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学では、大学及び各学部の教育理念に沿った専門教育と教養教育において成果をあげ、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出あるいは卒業演奏を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

その際、学生が獲得しておくべき学修成果は以下のとおりです。

- 1 美術工芸又は音楽の分野における基本的な知識を体系的に理解し、その知識体系の意味と自己の存在を歴史や文化、社会と関連付けて理解している。
- 2 知的活動や職業生活、社会生活においても必要となるコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力などの汎用的基礎能力を身につけている。
- 3 卒業後も社会的責任を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。
- 4 1から3までの知識や能力等を総合的に活用し、創造的な思考力をもって自らの課題を探求し、解決する能力を身につけている。

2 美術工芸学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、沖縄の伝統に根差した美術工芸はもちろん、造形芸術に新たな地平を切り拓き、自ら社会的役割を見出せる作家や研究者などの専門家の養成をめざします。

高い技術や専門知識、総合的かつ国際的な視野を身につけ、次代を担う個性的で優れた人材を育成します。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【教育の理念】

大学の教育理念に基づき、沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、沖縄の伝統に根差した美術工芸はもとより造形芸術に新たな地平を切り拓き、自ら社会的役割を担える作家、研究者、教育者などの専門家を育成するため、専門的素養と総合的知識、国際的視野を身につける教育を行います。

【求める人物像】

美術工芸学部の教育を達成するために、次に掲げる知識・技能や能力（思考力・判断力・表現力等）、目的意識・意欲等を備えた人材を求めます。

- 1 本学及び美術工芸学部の教育の理念をよく理解し、大学での学習に必要な基礎的な知識と技能を備えている人
- 2 美術・デザイン・工芸分野における制作や学習において、自ら課題を発見し解決するための思考力、判断力、表現力を備えている人
- 3 美術・デザイン・工芸分野において作家、研究者、教育者などの専門家になる意欲のある人
- 4 芸術文化の多様な背景を理解し、人とのコミュニケーションを大切に考え、社会性を認識し主体性を持って他者と協働できる人
- 5 沖縄固有の芸術文化や自然等に関心があり、沖縄で学ぶことに意義を見出せる人

【入学者選抜試験の基本方針と実施】

美術工芸学部においては、学部の教育理念を踏まえ、各専攻の専門性に沿った試験を課し評価します。

また、専攻ごとに設定された多様な入試科目において、学力の3要素（「基礎的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性・多様性・協働性」）を総合的に評価します。

なお、入試区分及び募集枠ごとに総合点の上位から合格者の選抜を行います。

各入試区分における評価方法は以下の通りです。

- 1 一般選抜では、大学入学共通テストにおいて国語、外国語及び任意の1科目の合計3科目を課し、大学での学習に必要な知識、技能、思考力等を測り評価します。また、個別テスト等において、実技検査、小論文、面接（プレゼンテーションを含む）を実施し、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び志願者本人の記載する資料等を活用します。
- 2 学校推薦型選抜では、絵画・デザイン・工芸各専攻は課題作品、小論文の提出と面接（プレゼンテーションを含む）を、芸術学専攻は小論文の提出と面接、口述試験を実施し、大学での学習に必要な知識、技能、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び高等学校長からの推薦書、志願者本人の記載する資料等を活用します。
- 3 総合型選抜では、専攻別に設定する試験（実技検査、小論文、自己アピール資料、ゼミナール試験、作品資料の提出等）及び面接・口述試験（プレゼンテーション含む）を課し、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を測るとともに、本人の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価・判定します。また、多面的、総合的な評価を行うため、面接等において、志願者本人が記載する書類等を活用します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、大学カリキュラム・ポリシーを基本に、以下のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

- 1 専門分野の実技と理論において、必須科目を中心とした体系的な授業科目の編成
- 2 専門教育の4年間にわたる段階的履修
- 3 自らの学修計画に基づき主体的に履修できる選択科目の編成
- 4 大学の学修活動全体を通じて汎用的基礎能力を育成する教育の実施
- 5 現代社会における美術・デザイン・工芸の役割を認識し、地域との連携を図り、社会との関係を学ぶ教育の実施

学修成果の評価は、評価の観点を示した上で授業科目の学習目標の達成度を基準に、作品・論文・レポート・筆記試験等により行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、大学ディプロマ・ポリシーを基本に、加えて以下に掲げる学修成果を獲得し、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 美術・デザイン・工芸の分野における基本的な知識を体系的に理解している。
- 2 自己の創造的活動を歴史、文化、社会、自然等と関連付けて考察できる。
- 3 専攻分野の専門的な技能と研究能力を身につけている。
- 4 卒業後も主体的に創作、研究を継続し、それらを社会に発信する意欲と能力を備えている。

第2 募集人員

学科・専攻別募集人員は、次のとおりである。

学科	専攻	入学定員	募集人員					
			一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜	私費外国人留学生選抜
			前期	後期	県内枠	全国枠		
美術学科	絵画専攻	10	5	3	1	1	若干名	若干名
	彫刻専攻	5	2	0	0	0	3	若干名
	芸術学専攻	6	4	0	1	1	若干名	若干名
デザイン工芸学科	デザイン専攻	20	12	0	3	3	2	若干名
	工芸専攻	24	6	0	5	5	8	若干名
計		65	29	3	10	10	13	若干名

注1：学校推薦型選抜、総合型選抜の入学手続き完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を一般選抜前期日程の募集人員に加える。

注2：学校推薦型選抜の県内枠に該当する者は以下2つの要件を満たす者とする。

①沖縄県内の高等学校等を令和9年3月までに卒業見込みの者（令和8年度の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校等の卒業を認められた者を含む）

②本人又は保護者が令和8年4月1日以前から引き続き沖縄県内に住所を有している者

注3：学校推薦型選抜の県内、全国それぞれの枠で募集人員に満たなかった場合は他方の枠に算入することがある。

注4：学校推薦型選抜の県内、全国それぞれの枠で募集人員に満たなかった場合は他方の枠に算入することがある。

注5：絵画専攻及び芸術学専攻の総合型選抜の募集人員は、一般選抜の前期日程の募集人員に含む。

注6：私費外国人留学生選抜の募集人員は、一般選抜の募集人員に含む。

注7：工芸専攻では2年次前期終了時に染分野、織分野、陶芸分野、漆芸分野の選別（選択制）を行い決定する。

第3 一般選抜

1 出願資格

次の(1)から(8)のいずれかに該当し、かつ、本学美術工芸学部が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目（6ページの別表参照）を受験した者

なお、外国人志願者は(9)を満たすこと。また、外国人志願者のうち、(3)に該当する者は(10)も満たすこと。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月までに卒業見込みの者（令和8年度

の学年の中途において又は学期の区分に従い高等学校の卒業を認められた者を含む。)

- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者並びにこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- (6) 法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの（事前に資格認定審査を行うので、令和8年10月30日（金）までに本学教務学生課に申し出ること。）
- (9) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格（留学等）を有する者
- (10) 修学に必要な日本語の能力を有する者（日本語能力試験で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2（N2の112点）レベル以上）

※注意事項

受験者は、前期日程試験、後期日程試験の両方に出願することができる。ただし、出願に必要な書類、入学考査料などは、試験毎に必要なになる。それぞれに出願すること。

2 選抜方法等

(1) 選抜方法

美術工芸学部の一般選抜は、美術学科絵画専攻は分離・分割方式の前・後期日程、美術学科彫刻専攻及び芸術学専攻並びにデザイン工芸学科デザイン専攻及び工芸専攻は分離・分割方式の前期日程により行う。2段階選抜や帰国子女等のための特別選抜、定員一部保留第2次募集は行わない。

(2) 合否判定基準

大学入学共通テストの得点と本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等（以下「個別テスト等」という。）の得点を合計して総合得点とし、専攻内の総合得点の上位から順に合格者とする。また、調査書も参考にする。

(3) 大学入学共通テスト

受験を要する教科・科目及び配点等は、下記及び6ページの別表による。なお、各専攻の指定する数以上の教科・科目を受験している者については、特に個別に指定された教科・科目を除いて、得点の高い教科・科目を評価の対象とする。また、本学では大学入試共通テストの過年度成績は利用しない。

教科	出題科目	選択方法
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 (英語はリスニングテストを含む)	必須 左記から1科目を選択
国語	『国語』	必須
地理歴史・公民	『地理総合, 地理探究』、『歴史総合, 日本史探究』、『歴史総合, 世界史探究』、『地理総合/歴史総合/公共』、『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』	必須 左記から1科目を選択
数学	『数学Ⅰ, 数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』	
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	
情報	『情報Ⅰ』	

※1 『地理歴史・公民』及び『理科』の2科目受験者については、第1解答科目の得点を評価の対象とする。

※2 『地理総合/歴史総合/公共』は、「地理総合」「歴史総合」「公共」のうち、いずれか2つを選択して解答。

※3 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち、いずれか2つを選択して解答。

(備考) 『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「 」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表す。

別表

令和9年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜試験（一般選抜）の実施教科・配点等（美術工芸学部）

学部・学科等名 及び入学定員等 〔令和8年度 志願倍率〕	学力検査の 区分・ 日程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等 注1			大学入学共通テスト・教科・科目に係る個別テスト等の配点等											その他の 選抜方法 等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科 注2	情報	外国語 注4英 (50:50)	小論文	実技 検査	面接		配点 合計		
美術工芸学部 (3.9) 65人 前期29 後期3 その他33	美術学科 前期11 後期3 その他7	絵画専攻 前期5 後期3 その他2	前期 2/25～ 2/27	国語	国語 を必ず受験	その他	前期 実技検査 (素描) (着彩) 面接	共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)				300	総合型 学校推薦型 外国人 追加合格	
								個別テスト等										600	100		700
								計	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)			600	100		1000
								共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)						300
								個別テスト等									100	500	100		700
								計	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)	100	500	100	1000		
	彫刻専攻 前期2 その他3	前期 2/25～ 2/27	外国語	英, 独, 仏, 中, 韓から1 を必ず受験 (英語はリスニングテストを含む。) 〔3教科3科目〕	その他	実技検査 (素描) (塑造) 面接	共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)					300	総合型 外国人 追加合格	
							個別テスト等									600	100	700			
							計	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)			600	100	1000		
							共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	*200	200 (100:100)					600		
							個別テスト等								*300	*300	100	400			
							計	200	*200	*200	*200	*200	*200	200 (100:100)	*300	*300	100	1000			
デザイン 工芸学科 44人 前期18 その他26	デザイン 専攻 前期12 その他8	前期 2/25～ 2/27	その他	実技検査 (素描) (色彩構成) (立体構成) 面接	共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)						300	総合型 学校推薦型 外国人 追加合格		
					個別テスト等									600	100	700					
					計	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)			600	100	1000				
	工芸専攻 前期6 その他18	前期 2/25～ 2/27			共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)							300	
					個別テスト等										600	100	700				
					計	100	*100	*100	*100	*100	*100	100 (50:50)			600	100 注5	1000				

注1 以下「個別テスト等」という。

注2 「理科」の「物理基礎/科学基礎/生物基礎/地学基礎」を選択する場合、4つの出題範囲のうちいずれか2つを選択して解答。

注3 「地理総合/歴史総合/公共」を選択する場合、3つの出題範囲のうちいずれか2つを選択して解答。

注4 英語については、リーディング(R)とリスニング(L)の配点を(R:L)と表し、その合計得点を各専攻の外国語の配点に換算して利用する。

注5 工芸専攻の面接試験は、プレゼンテーションを含む。

【大学入学共通テスト】欄

(1)各専攻の指定する数以上の教科・科目を受験している者については、特に個別に指定された教科・科目を除いて、得点の高い教科・科目を評価の対象にする。ただし、「地理歴史、公民」及び「理科」の2科目受験者については、第1解答科目の得点を評価の対象にする。また本学では、大学入試共通テストの過年度成績は利用しない。

(2)英語については、筆記試験とリスニングテストの合計得点を各専攻の外国語の配点に換算して利用する。

【大学入学共通テストの配点等】欄

(1)配点に*印を付してある教科、教科・科目に係る個別テスト等は選択教科、教科・科目に係る個別テスト等を表す。

3 個別テスト等の試験科目と日程

一般選抜（前期日程、後期日程）の個別テスト等に係る試験科目と試験実施方法は、次のとおりである。

(1) 試験科目

ア 前期日程

<対面入試>

試験科目		実技検査					面接
		素描	着彩	色彩構成	立体構成	塑造	
学科・専攻		対 面					
美術学科	絵画専攻	◎	◎				◎
	彫刻専攻	◎				◎	◎
デザイン 工芸学科	デザイン専攻	◎		◎	◎		◎

<遠隔入試>

試験科目		実技検査		小論文	面接
		素描	色彩構成		
学科・専攻名		提 出 型			オンライン型
美術学科	芸術学専攻	○		○	◎
デザイン 工芸学科	工芸専攻	◎	◎		◎

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示す。○印は選択科目を示す。

注2：絵画専攻の実技検査は、油画と日本画に分かれており、受験者はそのいずれかを出願時に選択する。

注3：芸術学専攻は、実技検査（素描）と小論文のいずれかを出願時に選択する。

注4：工芸専攻の面接試験はプレゼンテーションを含む。

注5：芸術学専攻、工芸専攻は遠隔入試とする。

イ 後期日程

<遠隔入試>

試験科目		実技検査		小論文	面接
		着彩	作品資料		
学科・専攻名		提 出 型			オンライン型
美術学科	絵画専攻	◎	◎	◎	◎

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示す。

注2：絵画専攻は遠隔入試とする。

注3：絵画専攻の実技検査は、油画と日本画に分かれており、受験者はそのいずれかを出願時に選択する。

(2) 試験日程等

◆前期日程◆

▼絵画専攻

試験日	2月25日(木)	2月26日(金)	2月27日(土)
試験科目 試験時間	実技検査 素描 9:30~16:30	実技検査 着彩 9:00~16:30	実技検査 着彩 9:00~11:30 面接 13:00~17:00 ※終了時間は上記時間より遅くなることもある
受験者が持参すべき用具等	<油画選択者> 木炭、鉛筆、消具、下敷用木炭紙(白紙) <日本画選択者> 鉛筆、消具	<油画選択者> 鉛筆、消具、水彩用具又は油彩用具一式(パレットを含む) <日本画選択者> 鉛筆、消具、水彩用具一式(筆洗を含む)	
受験上の注意	<p>○絵画専攻の実技検査は油画と日本画に分かれており、受験者はそのいずれかを出願時に選択すること。</p> <p>○絵画専攻油画の実技検査(着彩)では、キャンバス(油彩・アクリル兼用)または、画用紙(パネルに水張り)を準備している。受験者はそのいずれかを出願時に選択すること。</p> <p>○素描の際、ベンジン、アルコールなど揮発性の高い液体の使用を禁止する。</p> <p>○カッターナイフ等の刃物類は航空機内に手荷物で持ち込めないため、預け荷物に入れること。また、木炭や油絵具は航空法に基づき輸送できないため、各自で道具類の輸送手段を確認すること。</p> <p>○フィキサチーフ、画用液(ペインティングオイル、テレピン、シッカチーフのみ)、筆洗油は本学で準備する。</p>		
試験場	首里当蔵キャンパス美術棟(沖縄県那覇市首里当蔵町1-4)		
集合場所	首里当蔵キャンパス美術棟1階	試験場内の所定の場所	
集合時間	8:45までに集合すること。		

▼彫刻専攻

試験日	2月25日（木）	2月26日（金）	2月27日（土）
試験科目	実技検査 素描	実技検査 塑造	面接
試験時間	9:30～16:30 (休憩12:00～13:00) 以下の3点の石膏像から1点を出題 (マルス、ブルータス、 パジヤント) 木炭又は鉛筆（併用も可）	9:00～16:00 (休憩12:00～13:00)	9:00～12:00 上記時間内にて20分程度
受験者が持参すべき用具等	○素描用具一式（計り具は使用可） ○下敷用紙（未使用紙） ○木炭は本学で用意する。	○鉛筆、消具 ○塑造用具は本学で用意する。	○1年以内に描いた素描5枚（紙の種類、 大きさを問わない。） ○その他作品資料があれば持参する。
受験上の注意	○カッターナイフ等の刃物類は航空機内に手荷物で持ち込めないため、預け荷物に入れること。		
試験場	首里崎山キャンパス彫刻棟（沖縄県那覇市首里崎山町4-212-1）		
集合場所	首里崎山キャンパス デザイン/中央棟2階エントランスホール	試験場内の所定の場所	
集合時間	8:45までに集合すること。	8:30までに集合すること。	

▼芸術学専攻

試験日		2月25日（木）
試験科目 試験時間	素描/小論文（いずれかを出願時に選択する） 試験問題の到着時2月12日（金）から 提出期限2月15日（月）まで	面接 9:30～17:00
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 提出型で実施する。 入学願書に記載された住所宛に、本学から次のものを送付する。また、2月12日午前9:00に本学ウェブサイトにて志願者のみに限定公開する。 <ul style="list-style-type: none"> ①試験問題 ②用紙（素描）、 ③解答用紙（小論文）、 ④試験の流れについての説明 受験生は指定された期限までに組み、課題作品（素描）もしくは小論文解答を本学宛に郵送で提出（返送）すること。 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン（リアルタイム）で実施する。 面接時間は、上記時間内のうち1人あたり20分程度。
提出物及び準備するもの	<p>素描</p> <ul style="list-style-type: none"> 用紙（イラストボード）は出願後に本学から送付する。 [準備するもの] 画材（鉛筆、消しゴム） <p>小論文</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題用紙、解答用紙は本学から送付する。 [準備するもの] 筆記用具 	<ul style="list-style-type: none"> 素描あるいは小論文、出願書類を基に面接試験を実施する。 「本学受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両方を手元に準備しておくこと。
受験上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 試験問題等閲覧のための限定公開URL及びパスワードは、入学志願票に記載されたメールアドレスあて通知する。迷惑メール対策等を設定している場合は、本学から送信されたメールが受信できないことがあるため、「@okigei.ac.jp」を受信設定しておくこと。 試験問題等に同封した返信用封筒で郵送にて提出すること。 また、締切期日までに、メール添付にて下記アドレスに課題作品（素描）もしくは小論文解答の画像データを送付すること。 ※締切：令和9年2月15日（月）（消印有効） ※送付先 〒903-8602 那覇市首里当蔵町1-4 沖縄県立芸術大学 首里当蔵キャンパス 芸術学専攻 ※画像データ提出先：芸術学専攻学科室 (geijutsu@okigei.ac.jp) 	<ul style="list-style-type: none"> ○面接終了時間は延長する可能性がある。 ・「6 受験上の注意」（16ページ）を参照のこと。

▼デザイン専攻

試験日	2月25日（木）	2月26日（金）	2月27日（土）
試験科目 試験時間	実技検査 素描 9:30～16:30	実技検査 色彩構成 9:30～12:30 立体構成 13:30～16:30	面接 9:30～17:00
受験者が持参すべき用具等	・鉛筆、消しゴム	・鉛筆、消しゴム、直定規、三角定規、筆、筆洗、パレット（絵具皿）、コンパス、下敷き ・色彩構成で使用する絵具は本学で準備する。 ・立体構成で使用する道具（カッター、はさみを含む）は本学で準備する。	・面接内容は実技検査で制作した作品についての質問を含む。
受験上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・カッターナイフ等の刃物類は航空機内に手荷物で持ち込めない。 ・面接終了時間は延長する可能性がある。 		
試験場	首里崎山キャンパス デザイン/中央棟（沖縄県那覇市首里崎山町4-212-1）		
集合場所	首里崎山キャンパス デザイン/中央棟2F エントランスホール		試験場内の所定の場所
集合時間	8:45		前日に指定された時間

▼**工芸専攻**

試験日		2月25日(木)～27日(土)
試験科目 試験時間	実技検査 ①素描、②色彩構成	面接 (プレゼンテーション含む) 9:30～17:30
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ①素描と②色彩構成の「出題文」は1月13日(水)に本学ウェブサイトにて公表する。 出願期間に課題作品(①、②)を出願書類とは別に郵送にて本学に提出すること。 ※提出期限：2月3日(水)消印有効(持ち込み不可) 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン(リアルタイム)で実施する。 面接(プレゼンテーション含む)時間は、上記の時間内のうち1人あたり20分程度。
提出物及び準備するもの	<ul style="list-style-type: none"> ①素描1点 B3画用紙に鉛筆 ②色彩構成1点 B3ケント紙又は画用紙に絵の具 ※①と②で使用する画用紙や鉛筆、絵の具、道具などは、一般的なものを各自で準備する。 ※①と②は水張りパネル不可 	<ul style="list-style-type: none"> 面接は調査書を基に実施する。 プレゼンテーションは①素描、②色彩構成を基に実施するので、提出する前に①素描、②色彩構成を撮影しプリントアウトして手元に準備しておくこと。
試験に関する留意点	<ul style="list-style-type: none"> ※課題作品①、②はすべて自作であり、他者の手が加わらないこと。 ①と②の裏面右上に、必ず前期日程及び氏名を明記しておくこと。 ①、②の裏には、上下が分かるように矢印(↑)を書いておくこと。 ①素描、②色彩構成は返却しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「6 受験上の注意(Ⅱ 遠隔入試について)」(16ページ)を参照のこと。 面接の際には本人確認が必要のため、マスクを外すこと。

◆後期日程◆

▼絵画専攻

試験日		3月12日(金) ～3月14日(日)
試験科目 試験時間	実技検査 ①課題作品(着彩) ②作品資料及び③小論文	面接 9:30～17:30
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・①課題作品(着彩)と③小論文の「出題文」は12月4日(金)に本学ウェブサイトにて公表する。 ・③小論文は、出願書類と一緒に郵送すること。 ・出願期間に①課題作品(着彩)と②作品資料を共に梱包し、出願書類とは別に郵送等にて本学に提出すること。 <p>※提出期限：2月3日(水)消印有効(持ち込み不可)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン(リアルタイム)で実施する。 ・面接時間は、上記の時間内にて1人あたり15分程度。 <p>※終了時間は上記の時間より遅くなることもある</p>
提出物及び準備するもの	<p>①課題作品(着彩) 油画又は日本画の実技を選択する。 ※用紙、画材等は各自で用意すること。</p> <p><油画> ○用紙及び画材 キャンバスに油彩用具又はアクリル用具、画用紙にアクリル用具又は水彩用具。 ○作品サイズ キャンバスはF15号、画用紙は木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。(※提出時はキャンバス、パネルから切り離さずに梱包し提出)</p> <p><日本画> ○用紙及び画材 画用紙に水彩用具。 ○作品サイズ 木炭紙サイズパネル、またはF15号サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。(※提出時はパネルから切り離さずに梱包し提出)</p> <p>②作品資料 ・1年以内に制作した素描、着彩(合計10点以内)を撮影し、プリントアウトした用紙(A4)をクリップで留めること。 ・提出時は課題作品と一緒に提出。(全用紙下部には、氏名、作品サイズ、制作年、ページ番号を明記する)</p> <p>③小論文 ・400字詰め原稿用紙(B4判・縦書)に手書きで800字以内</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①課題作品、②作品資料、③小論文、出願書類を基に面接試験を実施する。 ・「本学受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両方を必ず手元に準備しておくこと。
試験に関する留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・①課題作品、②作品資料、③小論文は返却しない。 ・①課題作品の作品裏面右上に、必ず後期日程及び氏名を明記すること。 ・①課題作品の作品裏面中央に、必ず上下が分かるように矢印(↑)を明記すること。 ・③小論文は原稿用紙1枚目の欄外右余白に、タイトル・氏名を記入すること。 ・課題作品等の提出先宛名には、受験する専攻名、分野名を必ず記載すること。 <p>※①課題作品、②作品資料はすべて自作であること。 ※①課題作品は額装しないこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「6 受験上の注意(Ⅱ 遠隔入試について)」(16ページ)参照のこと。

4 出願手続

(1) 出願期間

前期日程試験・後期日程試験ともに令和9年1月25日（月）から2月3日（水）までとする。
ただし、2月3日（水）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。

（注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付に関わりなく日本時間の2月3日（水）午後5時までに到着したものを有効とする。

(2) 出願方法

本入学試験の出願手続はオンライン出願で行う。本学ウェブサイトからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。入学考査料支払後に入学志願票が入手可能となる。

入学考査料について

ア 17,000円

※オンライン出願ページの指示に従い、令和9年2月3日（水）までに納付すること。

※クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）による納付が可能。ただし、別途手数料がかかる。領収書の提出は不要。

イ いったん納入した入学考査料は原則返還しない。

出願に際しては、入学志願票を含む下記書類を郵送（書留郵便で速達）する必要がある、その手続までが出願手続となるので留意すること。書類の提出は出願期間最終日までの消印があるものに限り受理する。

*出願手続きについては本学ウェブサイト「オンライン出願ページ」の注意事項を参照すること。

オンライン出願ページ(<https://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>)

出願書類等	摘要
①入学志願票	ア 入学考査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページのURLが送付されるため、マイページから入学志願票をカラー印刷し提出すること。氏名は戸籍に記入されている文字を正しく入力すること。現住所は願書記入時の住所でよい。（以下の書類も同様とする） イ 絵画専攻の受験者は、油画又は日本画のどちらかを選択し、オンライン出願時に入力すること。（油画の実技検査（着彩）については、キャンバス又は画用紙のいずれかを選択すること。） ウ 芸術学専攻の受験者は、実技検査（素描）と小論文のいずれかを選択し、オンライン出願時に入力すること。 エ 入学志願票には上半身、無帽、正面、出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロードすること。不鮮明、背景が暗い、無背景でない、加工を施している、本人確認が困難等の写真は使用できない。また、写真は入学後の学生証にも使用するため、 学校の制服姿は推奨しない。 オ 共通テストに関して、一般選抜ではWeb方式を採用しているので、オンライン出願ページで申請番号等の情報を入力すること。成績請求チケットの印刷・本学への送付は不要。 ※受験票は、大学にて出願書類受理後にマイページから入手可能となる。
②調査書又は合格成績証明書	以下、ア、イのいずれかに該当する書類を提出すること。 ア 調査書 文部科学省所定の様式に従い、出身学校長が証明したもの（原本・開封無効）を提出すること。 *指導要録の保存期間の経過、廃校、被災その他の理由により出身学校長から調査書が得られない場合は、次の①または②の書類を全て提出すること。 ①学校等の卒業生又は修了者 ・卒業証明書又は修了証明書 ・成績証明書 ②バカロレア資格等の資格所有者 ・資格証明 ・成績証明書 *上記、成績証明書が発行できない場合は、それに代わる書類または出身学校長

	<p>からの「成績証明書を発行できない旨の文書」をあわせて提出すること。</p> <p>* 廃校等により出身学校長の証明が得られない場合は、出身学校を所管する教育委員会または知事が作成したこれらに関する書類をあわせて提出すること。</p> <p>* 日本語以外の言語で作成されている場合は日本語訳を添付すること。</p> <p>イ 合格成績証明書 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）は、調査書に代えて当該試験の合格成績証明書を提出すること。なお、合格証明書は不要とする。ただし、高等学校で修得した科目がある場合は、高等学校の調査書も必ず提出すること。</p>
③旅券及び在留カードの写し ※外国人のみ	外国人は、旅券の写し及び在留カードの表裏両面の写しを提出すること。
④住民票抄本等 ※県内に住所を有する該当者のみ	<p>入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が令和8年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本（原本）を提出すること。</p> <p>なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。</p> <p>また、配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、入学志願者本人との親族関係が確認できる戸籍謄本（原本）も提出すること。</p>
⑤日本語能力を示す証明書 ※外国人のうち、出願資格③に該当する者のみ	外国人のうち、出願資格の③に該当する者は、日本語能力試験（JLPT）で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2（N2の112点）以上に合格していると証明できる日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書（原本）を提出すること。
⑥学費・生活費の負担能力を証明する書類 ※外国人のうち、在留資格が「留学」の者のみ	<p>外国人のうち、在留資格が「留学」の者は、1年以内の直近の状況がわかる書類を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本人が支弁する場合 銀行の残高証明書、奨学金受給証明書などの原本 ・ 海外（本人の親族等）からの送金により支弁する場合 経費支弁者の銀行預金残高証明、経費支弁者の年間給与証明書、経費支弁者の銀行預金証書などの原本 ・ 本人以外の日本国内居住者が支弁する場合 経費支弁者の在職証明書・所得証明書（納税証明書もしくは源泉徴収票）、経費支弁者の銀行預金残高証明などの原本
⑦小論文	絵画専攻（後期日程のみ）

(3) 出願先（課題作品等の提出先も同様）

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080（直通）

(4) 出願上の注意

- ア 本学の前期日程または後期日程に出願する場合は、他の同日程で試験を行う国公立大学・学部には重複出願できない。
- イ 前期日程試験・後期日程試験のそれぞれに出願手続きを行うことができる。ただし、出願手続きは個別に行うこと。
- ウ 入学志願者は、本学が課した大学入学共通テストの教科・科目を受験していることを確認してから出願すること。
- エ 他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜合格者は、当該学校推薦型選抜を実施する大学・学部の定める学校推薦型選抜辞退手続きにより辞退した場合を除いて、本学を受験することができない。たとえ受験しても、受験者として扱われない。
- オ 本学前期日程試験に合格し令和9年3月15日（月）までに入学手続きを行った者は、他の国公立大学・学部の「公立大学中期日程（旧C日程）」試験及び本学を含む「後期日程」試験を受験していてもその合格者とならない。
- カ 出願後は、志望学科・専攻の変更を認めない。

- キ 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。
- ク 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- ケ 提出された出願書類は、理由の如何にかかわらず返還しない。

(5) 障がい等を有する者等の配慮の申請

本学に入学を志願する者で障がいのある者等が、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願の前に以下のとおり本学に申請すること。

- ア 申請期限 令和8年12月18日（金）
- イ 相談の方法 本学指定の様式による「受験上の配慮申請書」（医師の診断書等を添付）を郵送により提出することとし、必要に応じて面談等を行う。
※様式は本学ウェブサイト「入試案内」に掲載
(<https://www.okigei.ac.jp/examination/ex-index.html#accessibility>)
- ウ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課
電話番号 (098) 882-5080
- エ その他 上記ウェブサイトにて、受験上及び修学上の配慮に係る事例を掲載しているので、必要に応じて参照すること。

5 受験票

- (1) 受験票は、出願書類受理後にマイページからダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に必ず携帯すること。
- (2) 令和9年2月9日（火）までに、マイページから受験票がダウンロードできない時は、本学教務学生課に連絡すること。

6 受験上の注意

I 対面の入試について

- (1) 試験当日は、「本学受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両方を必ず携帯すること。
本学受験票は、出願書類受理後にオンライン出願サイトの「マイページ」からダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に携帯すること。
- (2) 個別テスト等の日程に注意すること。
- (3) 試験場は専攻ごとに異なるので注意すること。（3の「(2) 試験日程等」（8ページ）参照）

また、試験当日は、交通の状況等も考慮して、余裕を持って試験場に向かうこと。

- (4) 試験開始後30分を超えて遅刻した者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに試験場係員に申し出ること。
- (5) 実技検査の作品は返還しない。また、本学の交付した用紙等は一切持ち帰ってはならない。
- (6) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
ア 机上には指定された用具のみを置くこと。それ以外の物は監督者の指示した場所に置くこと。
イ 試験中に身体の具合が悪くなった場合は、監督者に申し出ること。
- (7) 試験の内容に関する質問には、一切答えない。
- (8) 試験当日は、構内への自動車、オートバイ等の乗り入れを禁止する。
- (9) 携帯電話等の通信・記録機器は、試験場に入る前に電源を切ること。
- (10) 試験が午後にわたるときは、弁当を持参すること。
- (11) 試験期間中は、受験者以外の者の構内への立ち入りを禁止する。
- (12) 忘れ物等については、1週間以内に申し出ること。
- (13) 本学では、宿泊施設等の紹介はしないので、受験者各自で確保すること。
- (14) 試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。

II 遠隔入試（オンライン型）について（前期日程の芸術学専攻、工芸専攻、後期日程の絵画専攻）

- (1) 試験当日は、「本学受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両方を必ず携帯すること。
本学受験票は、出願書類受理後にオンライン出願サイトの「マイページ」からダウンロードできるようになるので各自で印刷すること。
- (2) 受験者はパソコン、スマートフォン、タブレット等の通信機器と、インターネット回線に接続できる通信環境を用意し、オンラインシステム（Zoom）が使用できる環境を用意すること。また、試験時には個室に1人で対応できる環境を整えること。なお、事前に接続テストを行うので、その際も同じ環境で行うこと。

- (3) 試験に使用できる通信機器は1台とし（緊急時を除く）、試験中は電源に接続するか、事前に充電を行い、試験中に電源が切れることのないようにすること。
- (4) オンラインでの面接の接続時間は本学が指定し、決まり次第入学志願者へ連絡する。
- (5) 受験者は、指定時刻にオンラインに接続できるよう待機すること。なお、試験当日は、余裕を持って待機すること。
- (6) 指定時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに大学に申し出ること。
- (7) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
- (8) 試験中の録画・録音は禁止する。
- (9) オンライン（リアルタイム）型試験中に、試験と関係ない電話・メール等の着信があっても応答しないこと。鳴動し続ける場合、監督者に申し出て、着信を切断すること。
- (10) オンライン（リアルタイム）型試験開始から終了までは通信を切断すること及びウェブカメラの前から移動することは認めない。体調不良、トイレ等、やむを得ない場合には監督者に知らせ、その指示に従うこと。
- (11) 通信機器が接続不可能となった場合は大学(098-882-5080)と連絡をとり、対応を相談すること。
- (12) 試験の内容に関する質問には、一切答えない。
- (13) 試験で制作した課題（作品、小論文等を含む）を外部へ公表しないこと。
- (14) 試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。

7 不正行為

- (1) 提出論文等及び試験中に以下の不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。

不正行為

- ア 提出論文、作品等の全部又は一部を入学志願者本人以外の者に作成させた場合
- イ 提出論文、作品等において、生成AIの出力結果が使用されていると判断された場合
- ウ 入学志願者本人以外の者（生成AIの利用を含む）による試験解答への関与
- エ 監督者の指示に従わない場合
- オ 本項記載事項の他、入学試験に関し各種要項で禁止されている事項に反した場合
- カ 試験に関する内容についてオンライン等を含め、第三者が閲覧、視聴できるような状態にした場合
- キ その他、円滑な試験実施を阻害するとみなされる一切の行為

- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがある。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、1と同様とする。

- ア 許可された時間や場所以外で、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類やイヤホン、ヘッドセットをかばんなどにしまわず、身に付けていたり手に持っていること
- イ オンライン（リアルタイム）型試験において、関係のないパソコン、スマートフォン、タブレット等の操作をすること
- ウ オンライン（リアルタイム）型試験において、「①辞書や参考書を見るために目線（視線）が頻繁に動く」「②意図的に通信を切断する」等、不正が疑われる行為
- エ 指定された持参用具以外の物の持ち込み・使用を発見した場合
- オ 「6 受験上の注意」に記載されている電子機器類の使用に関する注意事項に反する行為

8 入学志願者状況案内

本学への志願状況について、以下の期間に本学ウェブサイト（<https://www.okigei.ac.jp>）へ掲載する。

令和9年1月29日（金）10:00 ～ 2月12日（金）17:00

9 合格者の発表

(1) 合格者の発表

以下の日時に受験番号を本学ウェブサイト (<https://www.okigei.ac.jp>) に掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得(入学手続書類)を郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

試験区分	合格者の発表
前期日程試験	令和9年3月5日(金) 10:00
後期日程試験	令和9年3月20日(土) 10:00

(2) 追加合格者の発表

入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、3月28日(日)以降に「追加合格者の決定」を行い、本人に直接連絡(電話等)するので、3月28日(日)から3月31日(水)までの間、確実に連絡できるようにしておくこと。(連絡は大学から行い、受験者からの問い合わせには応じない。)

10 入学手続

(1) 入学手続期間

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、次の期日までに必着させること。

(注意) 消印が期日以前であっても、期日の午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

前期日程	令和9年3月8日(月)～3月15日(月) 午後5時 必着
後期日程	令和9年3月21日(日)～3月27日(土) 午後5時 必着

(2) 提出書類

- ア 誓約書兼個人情報の取扱いに関する同意書(本学指定様式)
- イ 高等学校卒業証明書
- ウ その他(合格通知書とともに送付する入学者心得に詳細説明)

(3) 入学料の納入

- ア 入学料 県内居住者 282,000円
県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日(4月1日)の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日(4月1日)の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

- イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時まで納入すること。

※入学料以外の授業料・実習経費・学外研究費については、26ページの「学生生活」を参照。

(4) 入学料の減免について

原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号のいずれかに該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。

- ①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
- ②生活保護法(昭和25年法律第144号)による保護を受けている者と同一世帯内にある者
- ③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

(5) 手続書類送付先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080(直通)

(6) 留意事項

ア 令和9年3月15日(月)(前期日程)または3月27日(土)(後期日程)までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものとして取り扱う。なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届(本学指定様式)を提出すること。

イ 本学への入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。

ウ いったん納入した入学料や授業料は、原則返還しない。

11 入試成績の情報提供

個人情報保護に関する法律に基づき、入試成績については、口頭により受験者本人が自己の入試成績の情報提供依頼を行うことができる。詳細は「令和9年度入学者選抜要項」を参照すること。

第4 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜は、別途本学ウェブサイトに掲載している「令和9年度学校推薦型選抜学生募集要項」による。

第5 総合型選抜

総合型選抜は、別途本学ウェブサイトに掲載している「令和9年度総合型選抜学生募集要項」による。

第6 私費外国人留学生選抜

1 出願資格

次の各号のすべてに該当し、かつ、入学時において18歳に達している者

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）又はバカロレア資格（フランス共和国）を取得した者を含む。）
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2026年度第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目を受験した者
- (4) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格（留学等）を有する者
- (5) 修学に必要な日本語の能力を有する者（日本語能力試験で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2（N2の112点）以上）

（注意）日本の国籍を有しない者で、日本の高等学校における3年間の教育課程を履修し、かつ、卒業した者（令和9年3月までに卒業見込みの者を含む。）については、私費外国人としてではなく一般志願者と同様に扱う。

2 選抜方法等

大学入学共通テストを免除し、以下に掲げる内容を総合的に判断して合格者を決定する。

- ①2026年度第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目の成績
- ②一般志願者と同一の個別テスト等を課した成績
- ③出願書類等

3 個別テスト等の試験科目と日程

一般選抜と同様に実施する（第3の「3 個別テスト等の試験科目と日程」（7ページ）参照）。ただし、大学入学共通テストは免除する。

4 出願手続

(1) 出願期間

令和9年1月25日（月）から2月3日（水）までとする。（日本時間、以下同様）

日本国内から郵送するものは「書留郵便で速達」とし、2月3日（水）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。

（注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付に関わりなく日本時間の2月3日（水）午後5時までに到着したものを有効とする。

(2) 出願方法

本入学試験の出願手続はオンライン出願で行う。大学ウェブサイトからオンライン出願ページ

に進み出願手続を行うこと。入学考査料支払後に入学志願票が入手可能となる。

入学考査料について

ア 17,000円

※納入方法はオンライン出願ページの指示に従い、令和9年2月3日（水）までに納付すること。

※クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）による納付が可能。ただし、別途手数料がかかる。領収書の提出は不要。

イ いったん納入した入学考査料は原則返還しない。

出願に際しては、入学志願票を含む下記書類を郵送（書留郵便で速達）する必要がある、その手続までが出願手続となるので留意すること。書類の提出は出願期間最終日の消印があるものに限って受理する。

*出願手続きについては本学ウェブサイト「オンライン出願ページ」の注意事項を参照すること。
オンライン出願ページ(<https://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>)

出願書類等	摘 要
①入学志願票	<p>ア 入学考査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページのURLが送付されるため、マイページから入学志願票をカラー印刷し提出すること。</p> <p>イ 「氏名（漢字）欄」は、入学志願者の旅券に記載の英字氏名で記入し、「氏名（カナ）欄」は、入学志願者の氏名をカタカナで記入すること。</p> <p>ウ 住所は、本学からの通知等が確実に受け取れる郵便番号・住所を入力すること。</p> <p>エ 「在留資格欄」は、入学志願者の有する在留資格について記入すること。</p> <p>オ 「最終学歴欄」は、卒業（修了）年月日、学校名、所在地を記入すること。</p> <p>カ 「資格試験欄」は、国際バカロレア資格等大学入学に必要な資格を取得している者はその取得年月日、名称を記入すること。</p> <p>キ 独立行政法人日本学生支援機構が実施した2026年度第1回又は第2回日本留學試験の受験番号を記入すること。</p> <p>ク 「学歴欄」は、すべての教育機関にわたって、学校名、所在地名、修業年限、入学年月日、卒業（修了）年月日を年月順に記入すること。</p> <p>ケ 入学志願票には上半身、無帽、正面、出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロードすること。不鮮明、背景が暗い、無背景でない、加工を施している、本人確認が困難等の写真は使用できない。 写真は入学後の学生証にも使用する。</p> <p>※受験票は、大学にて出願書類受理後にマイページから入手可能となる。</p>
②最終学校の卒業証明書及び成績証明書	<p>日本の高等学校に相当する学校を卒業した者は卒業証明書及び成績証明書を、国際バカロレア資格等を有する者は資格証明及び成績証明書を提出すること。</p> <p>なお、日本の高等学校に相当する学校の卒業のうち学校教育年限の合計が12年に満たない者は、日本の文部科学大臣が指定した教育施設の修了証明書を合わせて提出すること。</p> <p>日本語以外の証明書は日本語訳も提出すること。</p>
③旅券の写し等	<p>旅券の写し及び在留カードの表裏両面の写しを提出すること。</p>
④住民票抄本等 ※県内に住所を有する該当者のみ	<p>入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が令和8年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。</p> <p>なお、住民票抄本（原本）が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。</p> <p>また、配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、入学志願者本人との親族関係が確認できる戸籍謄本（原本）も提出すること。</p>
⑤日本語能力を示す証明書	<p>日本語能力試験（JLPT）で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2（N2の112点）以上に合格していると証明できる日本語能力試験認定結果及</p>

	び成績に関する証明書（原本）
⑥学費・生活費の負担能力を証明する書類 ※在留資格が「留学」の者	<p>在留資格が「留学」の者は、1年以内の直近の状況がわかる書類を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本人が支弁する場合 銀行の残高証明書、奨学金受給証明書などの原本 ・ 海外（本人の親族等）からの送金により支弁する場合 経費支弁者の銀行預金残高証明、経費支弁者の年間給与証明書、経費支弁者の銀行預金証書などの原本 ・ 本人以外の日本国内居住者が支弁する場合 経費支弁者の在職証明書・所得証明書（納税証明書もしくは源泉徴収票）、経費支弁者の銀行預金残高証明などの原本

(3) 出願先（課題作品等の提出先も同様）

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080（直通）

(4) 出願上の注意

- ア 出願後は、志願学科・専攻の変更を認めない。
- イ 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。
- ウ 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合には、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- エ 提出された出願書類は、理由の如何にかかわらず返還しない。

(5) 障がい等を有する者等の配慮の申請

本学に入学を志願する者で障がいのある者等が、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願の前に以下のとおり本学に申請すること。

- ア 申請期限 令和8年12月18日（金）
- イ 相談の方法 本学指定の様式による「受験上の配慮申請書」（医師の診断書等を添付）を郵送により提出することとし、必要に応じて面談等を行う。
 ※様式は本学ウェブサイト「入試案内」に掲載
<https://www.okigei.ac.jp/examination/ex-index.html#accessibility>
- ウ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課
 電話番号 (098) 882-5080
- エ その他 上記ウェブサイトにて、受験上及び修学上の配慮に係る事例を掲載しているので、必要に応じて参照すること。

5 受験票

- (1) 受験票は、出願書類受理後にマイページからダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に必ず携帯すること。
- (2) 令和9年2月9日（火）までに、マイページから受験票がダウンロードできない時は、本学教務学生課に連絡すること。

6 受験上の注意

一般選抜と同様の取り扱いとする（第3の「6 受験上の注意」（16ページ）参照）。
 また、試験当日は、「本学受験票」と「旅券（パスポート）」の両方を必ず携帯すること。

7 不正行為

一般選抜と同様の取り扱いとする（第3の「7 不正行為」（17ページ）参照）。

8 入学志願者状況案内

本学への志願状況について、以下の期間に本学ウェブサイト（<https://www.okigei.ac.jp>）へ掲載する。

1月29日（金）10:00 ～ 2月12日（金）17:00

9 合格者の発表

(1) 合格者の発表

以下の日時に合格者の受験番号を本学ウェブサイト（<https://www.okigei.ac.jp>）に掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

試験区分	合格者の発表
前期日程試験	3月5日（金）10:00
後期日程試験	3月20日（土）10:00

(2) 追加合格者の発表

入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、3月28日（日）以降に「追加合格者の決定」を行い、本人に直接連絡（電話等）するので、3月28日（日）から3月31日（水）までの間、確実に連絡できるようにしておくこと。（連絡は大学から行い、受験者からの問い合わせには応じない。）

10 入学手続

(1) 入学手続期間

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、次の期日までの必着とする。

（注意）消印が期日以前であっても、期日の午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

前期日程試験	令和9年3月8日（月）～3月15日（月）午後5時 必着
後期日程試験	令和9年3月21日（日）～3月27日（土）午後5時 必着

(2) 提出書類

- ア 誓約書兼個人情報の取扱いに関する同意書（本学指定様式）
- イ 在留資格情報の記載がある住民票の写し（または住民票記載事項証明書）
- ウ その他（合格通知書とともに送付する入学者心得に詳細説明）

(3) 入学料の納入

- ア 入学料 県内居住者 282,000円
県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

- イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までには納入すること。
※入学料以外の授業料・実習経費・学外研究費については、「学生生活」（26ページ）を参照。

(4) 入学料の減免について

一般選抜と同様に取り扱う。（第3の10の「(4) 入学料の減免について」（18ページ）参照）

(5) 手続書類送付先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080（直通）

(6) 留意事項

- ア 令和9年3月15日（月）（前期日程）または3月27日（土）（後期日程）までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものと取り扱う。なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届（本学指定様式）を提出すること。
- イ 本学への入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。
- ウ いったん納入した入学料や授業料は、原則返還しない。

11 その他

- (1) 私費外国人留学生の募集に関する上記以外の事項については、一般選抜の入学志願者に関する募集要項に定める事項に準じて扱う。

建学の理念

- (1) 日本文化の中における沖縄の地域文化の特性と伝統は、極めて特徴的であり、文化伝統の源流を探り、文化生成の普遍性を究めるために不可欠の内容をもつものである。わけても沖縄固有の風土によって培われた個性的な芸術文化の継承と創造の問題は、日本文化としてはもちろんのこと、沖縄県にとっても重要な課題であるといわざるを得ない。そして、それらを担う人材の育成もまた長い未来への架橋として緊要なことである。
- (2) 県立芸術大学を建学する基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追求することにあるが、そのためには、地域文化の個性を明らかにし、その中に占める美術・工芸・音楽・芸能等さまざまな伝統芸術の問題に積極的かつ具体的に取り組み、その特性を生かすことでなければならない。このことは、日本文化の内容をより豊かにするとともに、ひいては、国際的な芸術的文化活動にも寄与するものと信ずる。
- (3) 我が国の最南に位置する県立芸術大学は、東アジア、東南アジアを軸とした太平洋文化圏の中心として、それらの地域における多様な芸術文化の実態と、地域文化伝統の個性とのかかわりを明らかにし、その広がりを目指し、汎アジア的芸術文化に特色をおいたユニークな研究教育機関にしたい。

沖縄県立芸術大学の概要

1 設置目的

沖縄県立芸術大学は、広く教養を養い、深く専門芸術の技術、理論及び歴史を教授研究して、人間性と芸術的創造力及び応用力を育成し、もって伝統芸術文化と世界の芸術文化の向上発展に寄与することを目的とする。

2 設置者 沖縄県

3 設置場所

首里当蔵キャンパス	〒903-8602 那覇市首里当蔵町1丁目4番地 本部 美術工芸学部（絵画専攻、芸術学専攻） 音楽学部（全専攻） 附属図書・芸術資料館 奏楽堂 体育館
首里崎山キャンパス	〒903-0814 那覇市首里崎山町4丁目212番1 美術工芸学部（彫刻専攻、デザイン専攻、工芸専攻）
首里金城キャンパス	〒903-0815 那覇市首里金城町3丁目6番地 芸術文化研究所

4 修業年限及び学位

- (1) 修業年限 4年
- (2) 学位 学士（芸術）

5 教員免許状

教育職員免許法に定められた所定の単位を修得すれば、中学校教諭1種免許状（美術又は音楽）と高等学校教諭1種免許状（美術、工芸又は音楽）を取得することができる。

ただし、こども性暴力防止法に基づく特定性犯罪前科の事実確認において犯罪前科が認められた場合、教育実習を実施することができず、教員免許を取得することができない。

6 学芸員資格

博物館学課程所定の単位を取得すれば、学芸員の資格を取得することができる。

7 収容定員

学部	学科	専攻	収容定員	
			入学定員	総定員
美術工芸学部	美術学科	絵画専攻	10	40
		彫刻専攻	5	20
		芸術学専攻	6	24
	デザイン工芸学科	デザイン専攻	20	80
		工芸専攻	24	96
小計			65	260
音楽学部	音楽学科	音楽表現専攻	23	92
		音楽文化専攻	7	28
		琉球芸能専攻	10	40
	小計			40
合計			105	420

1 入学料及び授業料

- (1) 入学料 県内居住者 282,000円 県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

- (2) 授業料 年額 535,800円（内訳 前期分267,900円、後期分267,900円）

納入期限 前期授業料は各年度の4月30日まで、後期授業料は各年度の10月31日までに納入すること。ただし、納入期限が土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること。

(3) 入学料及び授業料の減免

原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号のいずれかに該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。

- ①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
- ②生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者
- ③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

(4) その他

上記(3)によらず特別の事情により入学料や授業料の納入が困難な場合は、事務局に相談すること。

2 授業料以外に必要な経費

(1) 実習経費

実習経費（4年間分）は次のとおりで、入学時に一括して納入し、過不足が生じた場合は入学後調整することになる。（※卒展経費含む）

- ①絵画専攻 300,000円
- ②彫刻専攻 330,000円
- ③芸術学専攻 70,000円
- ④デザイン専攻 170,000円
- ⑤工芸専攻 320,000円

(2) 学外研究費

各専攻とも2年次あるいは3年次に予定している必修科目の経費として、各専攻180,000円（芸術学専攻は160,000円）を入学時に納入し、過不足が生じた場合は入学後調整することになる。

3 奨学金制度

本学の学生で、人物、学力ともに優れ、かつ、健康で経済的理由により修学が困難と認められる者には、次の奨学金制度がある。

- (1) 日本学生支援機構奨学金（給付・貸与）
- (2) （公財）沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金（貸与）（沖縄県出身者のみ）
- (3) （公財）沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金（給付）
- (4) その他（地方公共団体、財団法人、その他奨学金制度の適用）

4 学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険及び学研災付帯学生生活総合保険への加入

学生教育研究災害傷害保険（以下「学研災」という。）は、学生が①講義、実験・実習等への正課中、②学校行事中、③①②以外で大学の施設にいる間、④大学施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間、⑤通学中、⑥学校施設等相互間の移動中に不慮の事故により傷害を受けた場合に、保険金を支給する全国規模の補償制度である。

また、学研災付帯賠償責任保険（以下「付帯賠」という。）は、国内において、学生が正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する。

上記の保険は、保険期間中に応じた少額の掛金を一度納入することにより、当期間中の災害に対し、治療日数及び災害内容に応じた補償がなされるので、万一の事故に備え、本学学生は全員加入すること。なお、加入手続は、オリエンテーションの際に行う。

学研災付帯学生生活総合保険は、「学研災」及び「付帯賠」の正課・学校行事中を補償する保険では不足すると思われる、24時間補償の保険である。

「学研災」や「付帯賠」とは異なり、保険の加入手続等は引受保険会社と直接行うこととなる。(加入にあたっては、「学研災」や「付帯賠」に加入している学生に限り加入できる。)

※「学研災」及び「付帯賠」保険に係る掛金(保険料)と保険期間

	掛金(保険料)合計金額 (4年間分)	保険期間
学生教育研究災害傷害保険 学研災付帯賠償責任保険	4,660円	4年

(注) この保険に関する照会は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課に行うこと。

5 個人情報の取扱い

(1) 個人情報の利用目的について

出願及び入学手続にあたって記入された氏名、住所その他個人情報は、以下の事項に付随する事務処理を行うために利用する。

- ①入学試験の実施
- ②合否通知、入学手続書類の送付
- ③入試成績の情報提供
- ④学生の福利厚生に資する情報の提供
- ⑤学業および学生生活に関する管理、連絡および手続
- ⑥大学の施設・設備の仕様に関する管理、連絡および手続
- ⑦本人および保証人への連絡、送付する各種書類の発送
- ⑧個人を特定しない統計処理

なお、不要となった情報の確実な破棄をはじめとし、提出された個人情報は個人情報保護法に則った万全の体制で管理する。

また、進路指導上、教育上の必要に応じて、受験者の入試結果および成績概要、在学中の履修状況や進路状況等を出身高校にお知らせすることがある。その際は本学と出身高校において守秘を前提とした万全の措置のもとに行う。

(2) 個人情報の第三者提供について

本学が取得した個人情報等は、以下のいずれかに該当する場合を除き、第三者へ提供、取扱いを委託することはない。

- ①利用者の事前の承諾を得た場合
- ②業務委託業者に対して、利用者に明示した利用目的の達成のために必要な範囲で個人情報等の取扱いを委託する場合
- ③法令の定めにより提供を求められた場合

(3) 情報主体の権利尊重について

本学は、個人情報等に関する情報主体の権利を尊重し、情報主体から自己情報の開示、訂正もしくは削除、又は利用もしくは提供の拒否を求められたときは、社会通念や慣行に照らし妥当な範囲でこれに応じる。

6 その他

本学には、学生寮施設がないので、学生はすべて自宅通学又は借家による通学となる。

入学後の授業等で使用するため、入学までにパソコン(又はタブレット等)及びインターネットに接続できる通信環境を整えておくことが望ましい。推奨される仕様については入学手続時以降に周知する。

出願書類等一覧表【一般選抜（前期日程試験・私費外国人留学生選抜）】

※受験番号	
-------	--

氏名	
----	--

以下の書類を順序どおりにクリップでとめ、一番上に本票を添付し、封筒に入れること。

順序	一般選抜（前期日程試験）出願書類の場合	チェック欄
1	入学志願票（マイページよりカラー出力。共通テスト成績請求票を貼付する）	<input type="checkbox"/>
2	以下、ア、イのいずれかに該当する書類 ア 調査書（必ず出身高等学校長が作成し厳封したもの。出身高等学校より調査書が得られない者は以下の書類を提出する） 卒業証明書及び成績証明書 （成績証明書が発行出来ない場合はその旨が記載された文書を提出する。また、日本語以外の言語で作成されている証明書は日本語訳を添付する）	<input type="checkbox"/> (該当者のみ) <input type="checkbox"/> (該当者のみ)
3	イ（高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）） 合格成績証明書	<input type="checkbox"/> (該当者のみ)
3	外国人は、旅券及び在留カード表裏両面の写し	<input type="checkbox"/> (該当者のみ)
4	住民票抄本等（県内に住所を有する該当者） 配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、戸籍謄本も提出。	<input type="checkbox"/> (該当者のみ)
5	日本語能力を示す証明書 ※日本語能力試験（JLPT）で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2（N2の112点）以上に合格していると証明できる成績証明書	<input type="checkbox"/> (該当者のみ)
6	学費・生活費の負担能力を証明する書類	<input type="checkbox"/> (該当者のみ)

順序	私費外国人留学生選抜出願書類の場合	チェック欄
1	入学志願票（マイページよりカラー出力）	<input type="checkbox"/>
2	最終学校の卒業証明書及び成績証明書等 （日本語以外の言語で作成されている証明書は日本語訳を添付する）	<input type="checkbox"/>
3	旅券及び在留カード表裏両面の写し	<input type="checkbox"/>
4	住民票抄本等（県内に住所を有する該当者） 配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、戸籍謄本も提出。	<input type="checkbox"/> (該当者のみ)
5	日本語能力を示す証明書 ※日本語能力試験（JLPT）で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2（N2の112点）以上に合格していると証明できる成績証明書	<input type="checkbox"/>
6	学費・生活費の負担能力を証明する書類	<input type="checkbox"/> (該当者のみ)

注1 この封筒は1人分のみとし、2人分以上を封入しないこと。

注2 入学志願票（マイページよりカラー出力）

注3 受験番号欄（※）は記入しないこと。

出願書類等一覧表【一般選抜（後期日程試験・私費外国人留学生選抜）】

※受験番号	
-------	--

氏名	
----	--

以下の書類を順序どおりにクリップでとめ、一番上に本票を添付し、封筒に入れること。

順序	一般選抜（後期日程試験）出願書類の場合	チェック欄
1	入学志願票（マイページよりカラー出力。共通テスト成績請求票を貼付する）	<input type="checkbox"/>
2	以下、ア、イのいずれかに該当する書類 ア 調査書（必ず出身高等学校長が作成し厳封したもの。出身高等学校より調査書が得られない者は以下の書類を提出する） 卒業証明書及び成績証明書 （成績証明書が発行出来ない場合はその旨が記載された文書を提出する。また、日本語以外の言語で作成されている証明書は日本語訳を添付する）	<input type="checkbox"/> (該当者のみ) <input type="checkbox"/> (該当者のみ)
3	イ（高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む））合格成績証明書	<input type="checkbox"/> (該当者のみ)
3	外国人は、旅券及び在留カード表裏両面の写し	<input type="checkbox"/> (該当者のみ)
4	住民票抄本等（県内に住所を有する該当者） 配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、戸籍謄本も提出。	<input type="checkbox"/> (該当者のみ)
5	小論文（絵画専攻のみ）	<input type="checkbox"/> (該当者のみ)
6	日本語能力を示す証明書 ※日本語能力試験（JLPT）で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2（N2の112点）以上に合格していると証明できる成績証明書	<input type="checkbox"/> (該当者のみ)
7	学費・生活費の負担能力を証明する書類	<input type="checkbox"/> (該当者のみ)

順序	私費外国人留学生選抜出願書類の場合	チェック欄
1	入学志願票（マイページよりカラー出力）	<input type="checkbox"/>
2	最終学校の卒業証明書及び成績証明書等 （日本語以外の言語で作成されている証明書は日本語訳を添付する）	<input type="checkbox"/>
3	旅券及び在留カード表裏両面の写し	<input type="checkbox"/>
4	住民票抄本等（県内に住所を有する該当者） 配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、戸籍謄本も提出。	<input type="checkbox"/> (該当者のみ)
5	日本語能力を示す証明書 ※日本語能力試験（JLPT）で日本語教育の参照枠（CEFRレベル）のB2（N2の112点）以上に合格していると証明できる成績証明書	<input type="checkbox"/>
6	学費・生活費の負担能力を証明する書類	<input type="checkbox"/>

注1 この封筒は1人分のみとし、2人以上を封入しないこと。

注2 入学志願票（マイページよりカラー出力）

注3 絵画専攻の実技作品と作品資料は、出願書類とは別に郵送等にて提出すること。
なお、絵画専攻の小論文は出願書類に同封し、提出すること。

注4 受験番号欄（※）は記入しないこと。

アクセスマップ

沖縄県立芸術大学の位置 Location of the Okinawa Prefectural University of Arts



モノレール駅名称

- 那覇空港駅
- 赤嶺駅
- 小塚駅
- 美武山公園駅
- 金川駅
- 旭橋駅
- 県庁前駅
- 美栄橋駅
- 牧志駅
- 安里駅
- おもろまち駅
- 古島駅
- 市立病院前駅
- 儀保駅
- 首里駅
- 石嶺駅
- 総務駅
- 浦添前田駅
- てだこ浦西駅

沖縄県立芸術大学周辺略図



【交通案内】首里金城キャンパス

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分
沖縄自動車道・那覇ICから、約10分
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約35分、
首里駅からタクシー利用で約8分
- バス利用の場合
「芸大第3キャンパス前」
バス停下車、徒歩1分
系統番号 [7][8]首里城下町線

【交通案内】首里当蔵キャンパス

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分
沖縄自動車道・那覇ICから、約10分
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約35分、首里駅より徒歩約10分
- バス利用の場合
「当蔵」バス停下車、徒歩1分
系統番号 [1]首里牧志線 [7][8]首里城下町線
[14]牧志開南循環線 [17]石嶺(開南)線
[346]那覇西原線(鳥堀経由)

【交通案内】首里崎山キャンパス

- 自動車利用の場合
那覇空港(那覇)より9.8km、約45分
沖縄自動車道・那覇ICから、約3分
- モノレール利用の場合
那覇空港駅より首里駅まで約35分、首里駅からタクシー利用で約6分
- バス利用の場合
○「芸大崎山キャンパス前」バス停下車、徒歩1分
系統番号 [15]寒川線 [16]新川石嶺線
○「那覇インター前」バス停下車、徒歩5分
系統番号 [1]首里牧志線 [14]牧志開南循環線 [15]寒川線 [16]新川石嶺線
[18]首里駅線(一周線) [19]首里駅循環線 [111][117]高速バス
[113]具志川空港線 [123]石川空港線
[127]屋慶名高速線 [152]ライカム高速線
[191][391]城間線(一日橋経由)

